

静岡いきもの 市散策マップ

谷津山コース



- 一般道路
- ハイキングコース
- その他遊歩道
- 静岡鉄道線路

谷津山の竹林

谷津山でも、手入れがされないため増えた竹林があらごちらに見られます。放置しておく、生物多様性が低下してしまうだけでなく、土砂災害などへの影響が考えられるため、ボランティアの団体が、竹林の伐採や管理を進めています。



整備されていない竹林



整備を進めている竹林

谷津山の成り立ち

数万年前、庵原山地から延びる尾根が安倍川から運ばれてくる土砂によって埋まっていた、尾根の高いところだけが孤立した山のように残りました。この部分が、現在の谷津山となっています。



賤機山から見た谷津山の全景

郷土の森 (ライオン砦)

愛宕神社へ



長源院

第一駿府病院

ピクニック広場

静岡県護国神社



カラスアゲハ



ノヒタキ

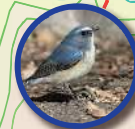


サトキマダラヒカゲ

古墳の森

谷津山山頂
107.9m

谷津山古墳



ルリヒタキ



マガモ



オカヨシガモ



トモエガモ

神池

清水山公園

静岡鉄道
音羽町駅

駿府音羽山
清水寺

駿府音羽山清水寺

室町時代、今川氏輝の遺命により重臣の朝比奈元長が建立したお寺です。谷津山周辺を京都の東山に見立てて、清水寺と名付けました。



清水寺山門



清水山公園の滝

谷津山古墳

谷津山古墳は古墳時代前期の前方後円墳で、静岡清水の中で最も古く、最も大きい古墳です。(全長約110m、高さ約10m)

大きな板石で覆われた竪穴式石室に、朱を塗った木棺が納められていました。また銅鏡、剣、やじり、管玉など、社会的地位の高さを示す副葬品が出土していることや、古墳の規模や形態、静岡清水を見渡す立地条件から、古代の駿河国の前身である、庵原国(いほはらく)の首長の墓といわれています。



護国神社の森

昭和16年に護国神社が造られた時、静岡県下各地から、ふる里の樹木が寄せられ、植えられました。今では、多くの立派な樹木が茂る森(照葉樹林)となりました。

この森はふる里の森づくりのモデルであり、樹木を観察するのにとても良いところです。昭和60年に静岡県の「お宮の森・お寺の森百選」のひとつに選ばれ、自然学習コースとなっています。



護国神社本殿



照葉樹林の森

護国神社内の神池

護国神社内にある神池には、冬場にマガモやオカヨシガモなどのカモの仲間が多く集まります。





静岡市 いきもの 散策マップ

谷津山コース

とり・どうぶつ

●メジロ



ウグイスに似ていますが、背側は全体的に黄緑色で、眼のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。

●キセキレイ



スズメより大きいです。胸からお腹まで黄色い鳥です。主に水辺にすみ、昆虫をつかまえて食べます。

●ジョウビタキ



スズメより少し小さな鳥で、秋に日本へやってくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られる「ヒツツ」と鳴きます。

●カワラヒワ



スズメくらいの大きさで、飛ぶ大きさに驚かされる模様が特徴的な鳥です。雑木林などに見られます。

●シジュウカラ



スズメくらいの大きさで、「ツイーツイー」と鳴きます。山地から、人家のまわりでも見られます。

●ヤマガラ



スズメくらいの大きさで、「ツツピーツツピー」と鳴きます。公園などで見られます。学習能力がとても高いです。

●コゲラ



スズメくらいの大きさで、「キーンキーン」となく「ツツツ」の仲間です。公園などの身近な場所でも見られます。

●キシバト



「デッポコ」と鳴き、くびに青色をおびた灰色の模様があるハトです。山地だけでなく、平地や市街地でも見られます。

●ホオジロ



スズメより大きな鳥で、オスは鼻の上で「チョビ」や「チュビ」や「チュビ」を鳴きます。耕作地などで見られます。

●ヒヨドリ



ハトより小さな鳥で、林や市街地、民家の庭で普通に見ることが出来ます。木の果、葉物などを好んで食べます。

●ニホンアナグマ



ずんべりとした体型のイタチの仲間。超節活動することもしています。雑食で、昆虫、ミミズ、果実など何でも食べます。

●キビタキ



スズメより少し小さな鳥で、山地や里山の林にすんでいます。オスは喉が青色で、胸からお腹までが黄色です。

●ウグイス



よく知られた鳴き声は「ホーホケキョ」ですが、冬には「チャッチャッ」と鳴きます。ヤブの中に入れて姿を見るのは難しいです。

●ムクドリ



スズメより大きな鳥です。「キョルキョル」と騒がしく鳴き、街路樹をねぐらにするため、人に嫌われることがあります。

●タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、ずんべりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

●ハクビシン



外来種で近年拡大傾向をみせています。鼻先が白く、白帯を引きます。雑食性で何でも食べ、木のぼりが上手です。



アクセス情報



【電車でのアクセス】

《清水山公園》
静岡鉄道「音羽町駅」下車
きよみずさん通りを北西に
向い、徒歩2分(約150m)

《静岡縣護國神社》
静岡鉄道「袖木駅」下車
山側を北東に向い、徒歩5分
(約300m)

緊急連絡先

- ・静岡県救急安心電話相談窓口 TEL: #7119
平日: 18時~翌8時、土曜日: 13時~翌8時、日曜日・祝日: 8時~翌8時
- ・消防 119番
- ・警察 110番

注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくまっています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作: NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
発行者: 静岡市環境局
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492
制作年: 令和7年2月

しょくぶつ

●シャガ



アヤメの仲間。山地の林のわきや道ばたに生えています。4~5月に少し紫がかかった白色の花を咲かせます。

●イタドリ



陽当たりの良いところを生える植物で、10月に白い花を咲かせます。若い茎は柔らかく、山菜として食べられます。

●ツユクサ



7~9月に青色の花を咲かせます。早朝に咲いた花は昼頃にはしぼみます。人家付近の道ばたに多く育ちます。

●トキワツユクサ



南アメリカ原産の植物で、陽当たりのあまり良くない道ばたや林の中に生えます。5~7月に白い花を咲かせます。

●カタバミ



ハート型の3枚の葉が1組になっています。春から秋まで黄色の花を咲かせます。実は熟すと弾けて種を飛ばします。

●ムラサキカタバミ



南アメリカ原産の植物で、庭や道ばたなどにたくさん生えています。3~8月、11~12月に赤紫色の花を咲かせます。

●ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に、赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細い葉は、冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

●トクダミ



6~7月に白色の花を咲かせます。全体に強毒があり、葉やお花に触れず、白かげの選ったところに生えます。

●ノコンギク



山地の林のまわりによく見られます。9~11月に淡紫色の花を咲かせます。夏の寒風が強いと花が少なくなります。

●トネアザミ



低地から山地まで生えているアザミの仲間。9~11月に赤紫色の花を咲かせます。

●アジサイ



6~7月に赤紫から青紫色の花を咲かせ、咲いてから花の色は徐々に変わっていきます。毒があることも有名です。

●ハハコグサ



4~6月に黄色の花を咲かせます。道ばたなどに生えます。コギョウとも呼ばれる春の七草の一つです。

●オオスズメバチ

【要注意】



日本最大のスズメバチで、日本のひざねには最も強い毒を持つ。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。

●ヤマトシジミ



早春から初夏まで、平地や低い山に生えるところで見ることが出来ます。幼虫はカタバミだけを食べます。

●アオスジアゲハ



林のまわりには見られませんが、市街地でも見られます。羽が黒いので、羽を飛ばし、葉や花を食べています。白かげの選ったところに生えます。

●アサギマダラ



春には南から北へ、夏から秋にかけては、北から南へ、2世代かけて移動します。ヒコシリババが特に好きです。

むし

●キアゲハ



開けた草原を好みますが、山間にも集まります。幼虫は他のアゲハハチヨウの仲間とは異なり、セリ科の植物を食べます。

●キマダラセリ



草原や林のまわりにも見られ、ヒメジョオンやカタトラノオなどの花を好みます。6月から9月にかけて、2回発生します。

●ニワハシヨウ



体長2cmくらいのハシヨウの仲間です。オリーブ色の体に白い模様があります。成虫は4~10月に見られます。

●ホタルガ



幼虫の長さが3cmくらいで、昼間に活動するガの仲間です。成虫は6~7月と秋の2回発生します。

●ミヤマアカネ



アカトンボの仲間。はねにある濃茶色の帯が特徴です。主に山地にすみ、6~11月に見られます。

●ヒカゲチョウ



日本だけにいるチョウです。年2回発生し、5月から10月まで見られます。夕方にのみほらりを飛んで飛び回ります。

●イチモンジセリ



成虫は初夏から初秋にかけて、年3~5回発生します。秋になると、幼虫はイチモノ科の植物を食べます。

●ツチイナゴ



体長5~7cmの淡い黄色をしたイナゴで、草の茂った野原にすんでいます。秋に成虫になり、そのまま冬を越します。

他にもたくさんの生きものがいるよ！
二次元コードからのぞいてみよう!!



メモ

しずおか みんなの
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)